

書籍をご購入いただいたみなさまへ

大原出版株式会社

2023年対策 旅行業務取扱管理者試験
標準トレーニング問題集 3. 国内旅行実務 訂正のお願い

平素よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。

誠に申し訳ございませんが、本書の記載内容に訂正がございます。

ご購入いただいたみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、下記該当書籍及び訂正内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

該当書籍

- ・2023年対策 旅行業務取扱管理者試験
標準トレーニング問題集 3. 国内旅行実務 15版（令和5年3月14日発行）
ISBN 978-4-86783-005-5

訂正内容

頁	内 容
本文 131ページ 問106 選択肢 d	(誤) 旅客の都合により予約便に乗り遅れた場合、払い戻し額は、旅客施設使用料の 370円+370円=740円のみ である。 ↓ (正) 旅客の都合により予約便に乗り遅れた場合、払い戻し額は、旅客施設使用料の 2,900円+370円+370円=3,640円 である。
解答・解説集 13ページ 問27 選択肢 d	(誤) d. 誤り。8月30日に長野～名古屋間を乗車した場合、資料の「JR東日本とJR東海とをまたがって運転する在来線特急列車を利用する場合のシーズン別特急料金のカレンダー」より、閑散期であることがわかる。 繁忙期 の長野～名古屋間(営業キロ250.8キロ → 251キロ分)の指定席特急料金は、 2,950円+200円=3,150円 である。 ↓ (正) d. 誤り。8月30日に長野～名古屋間を乗車した場合、資料の「JR東日本とJR東海とをまたがって運転する在来線特急列車を利用する場合のシーズン別特急料金のカレンダー」より、閑散期であることがわかる。 閑散期 の長野～名古屋間(営業キロ250.8キロ → 251キロ分)の指定席特急料金は、 2,950円-200円=2,750円 である。

<p>解答・解説集 14ページ 問28</p>	<p>(訂正後) 〔問 28〕 正解 d</p> <p>a. 誤り。小児1人に同伴される幼児が普通列車の普通車自由席を利用する場合は、幼児2人まで運賃が不要である。したがって、小児1人分の運賃が必要である。</p> <p>b. 誤り。幼児が特急列車の普通車指定席を幼児だけで使用する(座席を占有する)場合、大人又は小児に同伴されていても、小児の運賃・特急料金が必要となる。したがって、本問の幼児については小児1人分の運賃・特急料金が必要である。</p> <p>c. 誤り。大人と幼児が特急列車の寝台を利用する場合、1つの寝台を2人で同時に利用でき、寝台料金は1寝台分であり、なお、運賃・特急料金は実乗車人員分が必要となる。大人1人に同伴される幼児は、幼児2人まで運賃・料金が不要である。したがって、大人1人分の運賃・特急料金と1人分の寝台料金が必要となる。</p> <p>d. 正しい。寝台特急の2人用個室は、実際に使用する人数にかかわらず、個室単位料金を発売され、大人2人分の特急料金と2人分の個室寝台料金がセットになっている。なお、運賃は実乗車人員分であり、本問の場合、寝台特急の2人用個室1室内において大人1人に幼児1名が同伴されているため、幼児1人は無賃扱い(運賃不要)となる。したがって、寝台特急の2人用個室に大人1人と幼児1人が乗車する場合、大人1人分の運賃、大人2人分の特急料金と2人分の個室寝台料金が必要である。</p>
<p>解答・解説集 65ページ 問119 (2) 選択肢 c</p>	<p>(誤) c. 誤り。予約変更ができる運賃の航空券の有効期間は、発行日当日及び発行日の翌日から起算して1年間有効である。「ANA FLEX」は予約変更ができる運賃である。6月7日に航空券を購入(発行)した場合の有効期間満了日は、取消日にかかわらず、発行日(6月7日)の1年後の6月7日である。</p> <p>↓</p> <p>(正) c. 誤り。予約変更ができる運賃の航空券の有効期間は、発行日当日及び発行日の翌日から起算して1年間有効である。「ANA FLEX」は予約変更ができる運賃である。4月7日に航空券を購入(発行)した場合の有効期間満了日は、取消日にかかわらず、発行日(4月7日)の1年後の4月7日である。</p>